

2011年(平成23年)11月28日(月曜日)

分解型生分解
添加促進
酸化促進

欧州市場に参入

スウェーデンで公的認証

ピーライフ・ジャパン・インク

ピーライフ・ジャパン・インク(東京都世田谷区、富士績社長)は、オレフィン樹脂に生分解性を付与する、酸化型生分解促進添加剤「P-Life」(ピーライフ)の欧州への展開に乗り出す。スウェーデンでの公的認証取得を弾みとして、こ

れまで実績のほとんどなかった欧州への参入を図る。ポリエチレンテレフタレート(PET)やポリスチレン(PS)向けの添加剤の研究にも着手する。

とする添加剤。ポリオレフィンポリマーに約1%添加すると、光や太陽光をエネルギー元としてポリマーの酸化分解を促す。これにより、物性や分子量が低下し親水性が高くなるため土中や堆肥中の微生物が消化吸収し、分解する。ピーライフの添加による加工条件の変更や樹脂特性の変化がなく、低コストで生分解性

の付与ができる。基本添加率は1%だが、添加率を変えることで分解のスピードをコントロールすることも可能。アジアの1拠点で年間150万トンを生産し、パウダーと液体、マスターバッチタイプをラインアップ。世界20カ国、25社の販売代理店を通じて販売を行っている。75%がアジア・太平洋地域で、と

くに東南アジアでレジ袋やゴミ袋、食品トレーなどでの実績が高い。日本では梱包材や土木・建築資材や農業資材で採用されている。

今年1月には、スウェーデンの国立研究機関での公的認証を取得。酸化型生分解では世界初となる。ピーライフを添加したポリエチレンフィルムはポリマーの酸化分解評価、酸化分解後のポリマーの生分解度、生分解後の土中残留物の環境への影響の3つのステップについて試験基準をクリアした。欧州で生分解の基準とされる、2年間で90%以上の生分解が確認された。

同社は公的認証取得を機に、これまで実績のほとんどなかったヨーロッパ市場への参入を本格化させる。トルコの販売代理店や、東南アジアからの輸出ルートなどを活用する。

バイオエタノール由来のポリエチレンに添加した「グリーン・ポリエチレン」としての提案や、ピーライフを添加した樹脂にフィラーとしてバイオマス素材を組み合わせたものなどさまざまなアプリケーションへの採用拡大を狙う。